

<b>科目名</b>	保育実習指導Ⅱ						
<b>Course Name</b>	Guidance and Evaluation on Childcare Practice Ⅱ						
<b>年次</b>	2年	<b>期別</b>	前期	<b>単位数</b>	1	<b>授業形態</b>	演習
<b>担当者氏名</b>	久保田 隆範・栗原多恵						
<b>連絡先(質問等)</b>	本館3階研究室か、メールで対応する。						
<b>必修/選択</b>	選択(保育士養成課程は必修)						
<b>関連 DP</b>	DP3、DP4、DP5						
<b>授業の概要と到達目標</b>	保育所における実習に向けて、子育て支援を含めて保育所の機能を理解するとともに、乳幼児を含む子どもの見方と記録の取り方と係わり方について実践力を高めていく。また、部分実習や責任実習に向けての準備をし、発表し合う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶことができるようにする。</li> <li>② 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培うことができるようにする。</li> <li>③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。</li> <li>④ 保育現場における子育て支援の実際と保護者に対する接し方について学ぶことができるようにする。</li> </ol>						
<b>授業の方法</b>	文字資料や映像を使って事例(ケース)を紹介し、具体的に子どもの見方や記録の取り方や係わり方を学ぶ。また、実習先での部分実習や責任実習の内容を検討し、発表し合う。						
<b>学習成果</b>	L01						
	L02	実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえた上で、現場に必要な保育技術を実践することができる。					
	L03	子どもの見方と記録の取り方と係わり方について分析を深め、実際に子どもの成長を支援することができる。					
	L04						
<b>課題に対するフィードバック</b>	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
<b>教科書/参考図書</b>	参考図書:保育実習の手引き(佐野日本大学短期大学)						
<b>履修上の留意点やルール等</b>	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回45分相当とする。製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。						
<b>担当教員の実務経験</b>	●久保田 隆範 実務経験(職種:プレイリーダー・研修講師 職歴:通算6年) 実践現場での多様な経験を、教材研究の際に活かす。 ●栗原多恵実 務経験(職種:幼稚園教諭 職歴:通算9年) 実践現場での多様な経験を、指導案作成等の事前指導の際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
<b>授業参加態度</b>	授業で使用する資料・教材の準備に勤しみ、ディスカッション場面では他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べ、模擬保育や発表聴講の際には的確な質問ができることが望ましい。		30		
<b>レポート/作品</b>	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細は授業内で説明する)			40	
<b>発表</b>	・手遊びや、製作物を用いた発表を実施し、評価対象とする。十分に		30		

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

	準備し、臨むこと。 ・グループ議論での課題抽出と改善策を明確に発表できること。				
小テスト					
試験					
その他					
<b>合 計</b>			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	保育実習における基本的事項の確認／保育現場における子育て支援活動の実践事例の理解
	事前・事後学習	保育実習 I での学びを整理し、まとめる。
3	授業内容	保育実習実践に向けた準備① 構想を練る
	事前・事後学習	授業内容を踏まえて、絵本や紙芝居を読み、作り手の工夫点をまとめる。
4	授業内容	保育実習実践に向けた準備② 製作
	事前・事後学習	製作に必要な素材を吟味し、準備する。
5	授業内容	保育実習実践に向けた製作物の発表と振り返り
	事前・事後学習	発表のシミュレーションをして授業に臨む。
6	授業内容	これまでの実習日誌の共有と課題の抽出(実習日誌持参)
	事前・事後学習	事前に過去の実習日誌を読み込み、当時の課題を整理する。
7	授業内容	これまでの実習における学びの共有と課題の抽出(子どもや保護者との関わり方など)
	事前・事後学習	他学生からの学びや気づきを整理し、まとめる。
8	授業内容	実習実践映像から学ぶ
	事前・事後学習	実践映像を踏まえて自身の気づきと考察をまとめる。
9	授業内容	実習のエピソードを通して、子どもの理解と対応の仕方について学ぶ
	事前・事後学習	配布資料の読み込みと振り返りを行い、考察をまとめる。
10	授業内容	子ども(1～6 歳)の遊びの発達についての理解
	事前・事後学習	発達段階別の特徴を再度復習し、まとめる。
11	授業内容	これまでの部分実習・責任実習内容の共有(指導案の持参)
	事前・事後学習	過去に作成した指導案を振り返り、セルフチェックを行う。
12	授業内容	実習持参書類の準備と確認(健康チェックシート等の作成)
	事前・事後学習	事後に準備書類に不備がないかの確認を行う。
13	授業内容	保育実習に向けて、実習に臨んでの添削指導。課題や実習園でのオリエンテーションの確認。
	事前・事後学習	実習に臨むにあたり、自身の課題を整理しまとめる。
14	授業内容	保育実習に向けて、部分実習・責任実習の内容を検討
	事前・事後学習	配属クラスを想定し、発達段階に適した活動の構想を練り、まとめる。
15	授業内容	保育実習に向けて、部分実習・責任実習の指導案作成
	事前・事後学習	事後に作成した指導案の最終チェックと修正をいれる。